

# city life

都市のしぐみとくらし

no.99  
spring  
2011

特集 「学校」からのまちづくり



3月11日に発生した東北関東大震災により、  
被災された皆さんに心からお見舞い申し上げますと共に、  
亡くなられた方々に衷心より哀悼の意を捧げます。

皆さまの安全と被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。



表紙——志木市立志木小学校(関連記事:p29)  
裏表紙——篠山チルドレンズミュージアム  
(関連記事:p34)  
photo:佐藤 真

## 特 集

## 「学 校」か ら の ま ち づ く り

### contents

#### | 連続インタビュー | まちづくりと学校

- コミュニティ・スクールは地域を活性化できるか | 佐藤晴雄  
子供の生活空間としてのまちづくり | 木下 勇  
まちへ開く学校づくり | 工藤和美

2

#### | クロニクル+データ | 学校の変遷 建築・空間・地域 | 監修:上野 淳

10

#### | ケーススタディ | 地域とつながる学校

- 習志野市立秋津小学校 | 「学校を基地」に町を育てる  
京都市立御所南小学校 | コミュニティ・スクールで、京都140年来の都市文化を再生する  
足立区立五反野小学校 | 「地域」を学校化。町ぐるみで子供を育てる  
志木市立志木小学校 いろは遊學館・いろは遊學図書館 | 小学校を核にした、どこでも可能なまちづくり

14

19

24

29

#### | ルポ | リ・スクール 生まれ変わった学校

34

#### | back number · information |

40

特集

# 「学校」からの まちづくり



戦後、いわゆる「片廊下一文字型校舎」の、画一的で単純なプランが主流となった学校建築。これに変化が現れたのは1970年代。教室と廊下を隔てる壁を取り払った「オープンクラス」が登場する。1980年代には、学校建築は「開く」をキーワードにした、いくつかの改革的なモデルを誕生させた。だが、こうした試みもまた、いつしか形骸化していく。そのうえで、新たな変化の兆しとなったのは、「地域に開かれた学校」というあり方だ。地域との豊かなつながりが、教育そのものに求められるようになった一方で、地域もまた、学校を拠点としたまちづくりに可能性を見出した。そして2004年には、「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」が成立。保護者のみならず、地域住民が学校運営に参画することが可能になった。「学校」を軸として、地域がつながるまちづくりのあり方を探る。

photo:佐藤 真「篠山チルドレンズミュージアム〈魔法の庭〉」（関連記事:p34）